

誰もが安心して暮らせる介護保険制度を求める緊急声明

現在、社会保障審議会・介護保険部会で検討されている次期改定案は、利用者の権利を奪い、介護現場を崩壊させ、ひいては経済の衰退を招く「社会保障費抑制ありき」の内容となっています。「40歳から保険料を払ってきたのに、いざ必要な時に使いにくい」という仕組みは、保険制度としての信頼を損なう詐欺的な行為です。利用抑制は一時的には費用の削減に見えますが、早期の対応を遅らせることは結果的に大きな社会的コストを生み出します。介護保険証の不交付案にも、利用抑制しようという意図が透けて見えます。

私たち「ケア社会をつくる会」は、現場の実態を無視した改悪に断固反対し、真に持続可能な制度への転換を強く求めます。

① 利用者負担2割への引き上げに反対

物価高騰で、特に年金を主な収入とする要介護者たちの暮らしが厳しさを増すなか、原則1割負担から2割への引き上げは利用者には倍増となります。高齢者の家計にとって大打撃であるばかりでなく、サービス利用を減らす結果を招くことで、事業者にも打撃を与えます。利用抑制と事業所減少によるサービス不足を家族が補うために「介護離職」が増え、労働力不足に拍車をかけるでしょう。利用者、事業者双方が共倒れになりかねません。

② ケアプラン有料化に反対

ケアマネジメントに利用者負担を求めるとは、相談業務の原則に反します。そればかりか、ケアプラン作成の有料化は制度利用へのハードルを高め、利用を抑制する結果になります。ケアマネジャーの労働条件が悪すぎるために志願者が減少し、ケアマネジャー不足で利用の開始ができないケースさえあります。また高齢単身世帯の増加に伴い、業務外のアンペイド・ワークも増えています。不合理な更新制は廃止の方向が見えてきましたが、基本報酬の引き上げが必要です。

③ 要介護1・2の総合事業への移行（保険給付外し）に反対

要介護1・2は決して「軽度」ではありません。専門的な訪問介護やデイサービスから切り離し、総合事業へ移行させれば、適切な早期のケアが受けられず、重度化や認知症の進行を早める結果となります。2017年から要支援1・2が総合事業へ移行されましたが、全国で約9割の自治体は、従前どおり予防給付によるサービスを行っている現状があります。まずは総合事業がどのような効果を上げたのかを検証することが前提です。

④ 訪問介護報酬の減額撤回と基本報酬の増額を求めます

2024年の第9期改定で訪問介護報酬が減額されたことで、訪問介護の現場は大打撃を受けました。介護保険開始以来最大の倒産件数を示しただけでなく、訪問介護事業所ゼロ自治体が増えたことは周知のとおりです。私たちは次期改定期を待たず、減額の撤回を求めてきました。そもそも介護保険開始以来、すべての介護報酬は物価上昇率にも、最低賃金の上昇率にも追いついていません。抜本的な基本報酬増加を求めます。

⑤ 人口減少地域の基準緩和は慎重に検討することを求めます

中山間・人口減少地域、大都市部、一般市の三類型に区切り、介護サービスの提供が地域の実情に即した形で行うことを目指す検討が始まっています。しかし、介護サービスが減少した地域の緊急性を理由に、制度の根幹にかかわる見直しを行うことには慎重であるべきです。場当たり的な基準緩和は労働条件の悪化をもたらし、事業の撤退を生みかねません。また、なじ崩し的に一般市や大都市部にも適用されていく導入口になることを強く危惧するものです。人口減少地域の対応を拙速な介護保険制度の改変で行うことには反対します。

介護へ投資しケア社会を創ることが、未来への希望です

国は改定毎に利用者の「負担の増加」と「給付の抑制」をめざしてきましたが、その結果、必要なケアを遠ざけ、要介護者の重度化を招いています。

介護保険の持続可能性のためには、介護保険財源のうち公費負担の増額が不可欠です。

介護保険は高齢者のためだけのものではありません。少子化と人口減の進む未来に向けて、子育て世代や単身者などを含むすべての人のケアのニーズが満たされるよう、強く求めます。

2025年12月5日

緊急集会・ストップ！介護崩壊 参加者一同

声明文 賛同者一覧

【団体】

ケア社会をつくる会、認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク、NPO 法人高齢社会をよくする女性の会、有限会社おとくに福祉研究所きょうと福祉俱楽部、株式会社ミカ・ケアプロモーションオフィス、合同会社インクル・かも、NPO 法人サポートハウス年輪、NPO 法人ひらすま、自治労社会福祉評議会、ふえみん婦人民主クラブ、NPO 法人ふるさとのあかり、NPO 法人東京福祉・まちづくりネット、安心と笑顔の社会保障ネットワーク、西東京市福祉推進協議会、高齢社会をよくする女性の会・広島、社会福祉法人やまなし勤労者福祉会、高齢社会をよくする女性の会・大阪、全日本民医連(全日本民主医療機関連合会)、ピース・ク有限会社、合同会社春岳、NPO 法人暮らしネット・えん、中央社会保障推進協議会、全国退職女性教職員の会、NPO 法人にぎやか、デイサービス隣家、NPO 法人里・つむぎ八幡平、(株)福祉の杜いまじん、NPO 法人人権サポートネット・レジリエンス・アルファ、公益社団法人認知症の人と家族の会、デイサービス隣家、きょうされん、公益社団法人認知症の人と家族の会富山県支部、認定 NPO 法人日本障害者協議会、公益社団法人やどかりの里、社会福祉法人あさか会、有限会社七七舎、有限会社ルミナス、エコショップ元気広場、NPO 法人たすけあいサポートアイアイ、一般社団法人シニア社会学会、一般社団法人コミュニティネットワーク協会、元気がでる介護研究所、一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構、社会福祉法人生活クラブ風の村、社会福祉法人いきいき福祉会、東京高齢期運動連絡会、NPO 法人地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク、山梨県民主医療機関連合会、生活クラブ運動グループハ王子地域協議会、社会福祉法人協同福祉会、西東京市福祉推進協議会、市民福祉団体全国協議会、NPO 法人格ースケア機構、高知県視力障害者の生活と権利を守る会、全日本民主医療機関連合会、公益社団法人山梨勤労者医療協会、一般社団法人全日本視覚障害者協議会、つどい場だんだん、公益財団法人 U ビジョン、NPO 法人渋谷介護サポートセンター、特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい(ACT)、全国地域包括ケアシステム連絡会、日本退職者連合、情報労連 NTT 労組退職者の会、NHK 退職者全国協議会、京都民主医療機関連合会(京都民医連)、(株)かくの木薬局、NPO 法人世田谷ゆりの木、NPO 法人きょうと介護保険にかかる会、ヘルパー国賠裁判原告団、ケアタウン総合研究所、公益財団法人 U ビジョン研究所、「お元気ですか」(発行人 山田信太郎)、認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社、社会福祉法人悠遊、ピース・クリエイト有限会社、社会福祉法人いきいき福祉会、北海道民主医療機関連合会、社会医療法人千葉県勤労者医療協会、社会医療法人財団城南福祉医療協会、大田病院、介護される人も介護する人もみんな笑顔に！北海道連絡会、福島県視力障害者協議会、茨城県視覚障害者の生活と権利を守る会、東京視覚障害者協会、兵庫視覚障害者の生活と権利を守る会、和歌山視力障害者の生活を守る会、岡山県視覚障害者友の会、広島視覚障害者協議会、福岡県視覚障害者友好協会、一般社団法人全日本視覚障害者協議会女性部、未来のニセコを拓く会、ニセコ国際女性協会、京都社会保障推進協議会、東京保健生活協同組合、NPO 法人サポートハウス年輪、東京民主医療機関連合会、愛知県社会保障推進協議会、那須まちづくり株式会社、東京ほくと医療生活協同組合

【個人】

上野千鶴子(認定 NPO 法人 WAN)、小島美里(認定 NPO 法人暮らしネット・えん)、中澤まゆみ(ケアコミュニティせたカフェ)、野田真智子(BetterCare 編集部)、石田路子(NPO 法人 WABAS)、袖井孝子(NPO 法人 WABAS)、藤原るか(NPO 法人グレースケア機構)、植本眞砂子(高齢社会をよくする女性の会・大阪)、藤田紀子(岩波書店編集部)、小川泰子(社会福祉法人いきいき福祉会)、安岡厚子(NPO 法人サポートハウス年輪)、和田誠(公益社団法人認知症の人と家族の会)、林信悟(中央社会保障推進協議会)、前田和男(アクション介護と地域)、日下部雅喜(大阪社会保障推進協議会)、中迎聰子(いろ葉)、林泰則(全日本民主医療機関連合会)、伊藤英樹(NPO 法人井戸端げんき)、近藤美香(ミカ・ケアプロモーションオフィス)、香丸真理子(労働者協同組合 ACT・人とまちづくり)、森詩恵(大阪経済大学)、吉川温(インクル・かも)、浜田きよ子(はいせつ総合研究所・排泄用具の情報館むつき庵)、島村八重子(全国マイケアプラン・ネットワーク)、春日キスヨ(高齢社会をよくする女性の会広島)、服部万里子(服部メディカル研究所)、金子裕美子(公益社団法人認知症の人と家族の会新潟支部)、西野裕哉(デイサービス隣家)、有田和生(きょうと福祉俱楽部)、高橋和人(NPO 法人里・つむぎ八幡平)、岩崎直美・奥村まほろ(NPO 法人地域ケアネットワークゆいまある)、三浦紀夫(NPO 法人ビハーラ 21)、近藤けい子(NPO 法人こだま)、石井英寿(いしいさん家)、宮袋季美(NPO 法人ふらっと)、阪井由佳子(NPO 法人にぎやか)、小竹雅子(市民福祉情報オフィス・ハスカップ)、斎藤なを子(日本障害者協議会きょうされん)、高口光子、有田和生、勝田登志子、虫明ひとみ、相川名美、杉村和美、茂木直子、柏原登希子、奥村さち子、長福洋子、加藤正姫、佐伯知華子、萩原久美子、波多野律子、中澤千春、榎直子、川畑智香子、堀本泰弘、松浦克、稻垣博美、力久修、浦崎啓子、本山好和、芳我京子、福辺節子、山根純佳、村田久美子、木下健二、藤本憲明、星博夫、本澤千代、森脇拓恵、渡辺一枝、山本智美、鶴田昭裕、杉山祥仁、大利英昭、飯野千春、荒木淳、大住元美登里、丸山法子、浜野研三、吉川温、増田一世、阪井由佳子、後藤朱実、畠中典子、奥村まほろ、奥井主子、山崎ひろみ、亀田尚、工藤美奈子、平野一恵、浅井直美、日下部雅喜、佐藤純子、市原美穂、金子裕美子、岩崎直美、山本恵美、白石孝、花保ふみ代、中澤俊介、中田祐子、金崎康子、清水麻衣子、鮎川雄一(かくの木介護支援事業所)、白石志乃、疋優子、樽川雅子、経遠葉子、星野智恵子、清水君枝、和田享子、赤澤千鶴、池田徹(社会福祉法人生活クラブ風の村)、原嶋明日香(認定 NPO 法人 WAN)、日野徹子、石塚幸子、諸星たお、伊藤恭子、二木啓孝、原和加子、土屋基、鈴木君子、大野富美子、山本きょう子、小宮修太郎、内野洋子、関根和彦、嚴華、佐川礼子、宮崎信恵、高橋慎二、大島ふさ子、熊崎清子(NPO 法人 WABAS)、北村典子、内山礼子、小澤利野、宮下今日子、村田正子、伊藤みどり、藤代政夫、西浦共子、千田正雄、間宮美季、林千根(NPO 法人 WABAS)

【参加議員】

沼崎満子(公明党衆議院議員)、尾辻かなこ(立憲民主党衆議院議員)、吉田はるみ(立憲民主党衆議院議員)、大河原まさこ(立憲民主党衆議院議員)、いちき伴子(立憲民主党衆議院議員)、岸まきこ(立憲民主党参議院議員)、田村貴昭(日本共産党衆議院議員)、天畠大輔(れいわ新選組参議院議員)、くしぶち万里(れいわ新選組衆議院議員)、福島みづほ(社民党参議院議員)、鬼木誠(立憲民主党参議院議員)